

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

「家庭・地域・学校協議会」の組織図		
児童生徒類	PTA 会長	校長
公民館長	PTA 副会長	教頭
老人会長		教務
		生徒指導主事
(3名)	(3名)	(4名)
地域コーディネーター (3名)		
老人会長 公民館長 PTA 会長		

(2) 協議会の内容

- ①開催回数 2回(他、行事参観など適時)
- ②開催日程 7月17日、2月14日
- ③協議内容
 - ・学校の運営方針
学校経営案、スクールプラン、総合的な学習の時間の推進、体験学習の充実 等
 - ・地域・家庭・学校で取り組む事柄
子どもの生活上の課題 等
 - ・学校評価に関する事

(3) 協議会における成果と課題

成果については、子どもたちの登下校時の安全について民生委員・PTA・公民館事業等と連携して見守り活動を行うことができたことが挙げられる。また、あいさつや子どもたちのネット利用等の諸課題に関して、家庭の教育力、家庭と連携することの重要性を共有できたことである。

課題は年2回の協議会での話し合いの内容を、さらに広く家庭や地域に広げていくことであると考える。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域を調べることを通して、よさを発見したり課題を見つけたりする活動を行う。そして、自ら課題を発見しそれをよりよく解決する活動を通して、地域に愛着を持ったり、将来、ふるさとに貢献できたりする人材育成の素地を身に付ける。

(2) 活動の実際

「わが町 高浜 再発見」(6学年総合)

今年は、地域で6年に一度の祭り(高浜七年祭り)が行われる年で、地域は祭り一色となる。多くの子どもたちも祭りに関わることになることから、この機会を捉え、祭りの歴史や受け継ぐ人々の思い、課題などについて考えることを通して郷土に愛着と誇りを持ち、高浜町の将来についても考えていこうと計画を立てた。

まず、この祭りを知ることが目的に、佐伎治神社へ出向き、神輿等を見学し、宮司さんの話を聞くことから始めた。その後、地域の人から聞き取ったり、書籍やネットなどから資料を集めたりして調べ学習を行い理解を深めていった。

この高浜七年祭りは、期間中に行われる「太刀振り」「神楽」などの芸能がよく知られている。学校に来ていただき、芸能を披露していただいた時には、進行役を務めると共にこれまでの学習で得た知識を生かして芸能の紹介を行った。子どもたちは、演じる大人達の真剣な眼差しから伝統を受け継ぐことの強い思いを感じ取り、次は自分たちがという気持ちを持つことが



高浜町のPR活動

(様式3)

できたようである。

祭りを中心とした高浜町の良さを再認識した子どもたちは、修学旅行で訪れる奈良で、祭りを含めた高浜町の良さをまとめたPRパンフレットを配布することを計画した。パンフレットはグループごとに内容やレイアウトを工夫し自作することができた。修学旅行中はあいにくの雨となったが、興福寺前で道行く人に積極的に声をかけ我が町高浜町のPR活動を行った。

活動のまとめとして、「私が描く未来の高浜」を一人一人まとめることができた。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

6年生の学習において、地域コーディネーターの方に高浜七年祭りに関わる多くの人とつないでいただき、適切にアドバイスもいただいた。

1年の昔遊び、2年のサツマイモ栽培、3年生の大豆栽培と豆腐づくりの体験学習に、老人会のみなさんの参加を呼びかけていただいた。

(4) 特に工夫した事項

今年は6年に一度の七年祭りの年であることを生かし、これまで以上に積極的に地域とつながるチャンスと捉え活動を行った。

(5) 成果と課題

祭りの期間中、多くの地域の方に学校に来ていただき、学校の教育活動に協力していただくことができた。地域の方のおっしゃること、行動、醸し出す雰囲気に触れることは子どもたちにとって大きな学習の場となり、改めて地域と共に進める教育活動の重要性を感じることができたことが成果と言える。6年生の「わがまち高浜 再発見」の学習にも大変有意義なことであった。

今後も地域の方から学ぶ場を数多く作っていくことが必要であり、課題でもあると考えている。もう一つの課題は、こちらからも積極的に地域に出て行く活動を推進することである。今年、地域に貢献する活動として、「高浜スマイルボランティア」を立ち上げた。徐々にボランティアに参加する児童も増えてきている状況であり、来年度以降この取組をさらに進展させていきたい。